



明けましておめでとうございます 本年もよろしくお願いたします

年末年始がとても暖かくて過ごしやすい日が続いていましたので、心が穏やかな日々であったのではないかと推察します。

さて、今年も元旦に家族で近くの神社に初詣に行きました。まずは、お賽銭をあげ昨年度のお礼と新年の願いをしました。その後、かがり火にあたり暖をとりながら、お神酒をいただき、顔見知りの方々と新年の挨拶を交わし、様々な話に花を咲かせました。

皆さんは初詣に行きましたか？それぞれに新年の願いをしたのではないのでしょうか。特に3年生の皆さんは、合格祈願をしたのではないのでしょうか？

本年度も、生徒の皆さんやご家族の皆さん、職員やその家族の皆さんに、幸の多い1年になることをお祈りします。1年間よろしくお願いたします。

全力を尽くすことが感動を呼ぶ

正月はスポーツが花盛りで、ついついテレビにくぎ付けになってしまいます。高校サッカーやラグビーの全国大会を見ては、知らない選手ばかりなのですが、いつも三重県代表を応援しています。そのほかにも、箱根駅伝、実業団駅伝、サッカー天皇杯、ラグビー大学選手権などがあります。皆さんはどのスポーツを見て楽しみましたか？

箱根の火山噴火の影響で開催が心配された第92回東京箱根間往復大学駅伝競走は、青山学院大学が全区間で首位を守り、2位の東洋大学に7分以上の差をつけて2連覇しました。今年もテレビの解説者が、出場した大学のそれぞれの選手一人一人にドラマがあることを伝えてくれていました。

どのスポーツにおいても、選手の数だけドラマがあり感動があります。スポーツ観戦の良さは、その一端に触れることができることだと考えています。

試合や大会に出場している選手だけではなく、ベンチの選手、スタンドや沿道で応援している選手たちが、自分の取り組んでいるスポーツに一生懸命であり、全力を尽くして取り組んでいる姿が私たちに感動を与えてくれています。勝敗は大切なことのひとつですが、一人一人が一生懸命になることに価値があり、全力を尽くし努力することが人を輝かせるのだと思います。生徒の皆さんも全力で打ち込めるものを見つけしてほしいと思います。



3年生は入試本番です！ 夜型から朝型へ

1月13日(水)～15日(金)の卒業テストが終わると、翌日16日(土)の鈴鹿工業高等専門学校推薦入学試験をかわきりに私立高校の入試が始まります。

これまで学習してきた実力を発揮してほしいと思います。

併せて、普段の学校生活において、服装や身だしなみを今まで以上に整え、マナーの向上も図り、言葉遣いも注意しましょう。さらに、風邪の流行する季節ですから、健康には特に注意を払い、栄養と休養を十分に摂りましょう。勉強は、夜型から朝型に変えて取り組むことの方がいいと思います。



携帯・スマホ問題を考える（特集）

2学期の終業式の校長挨拶の中で、3つのことを褒め、3つのことを注意しました。

褒めたことは、①挨拶できる生徒が増えたこと。②授業を大切にしている生徒が増えたこと。③清掃活動に一生懸命取り組む生徒が増えたことです。

注意したことは、①人をからかったり冷やかしたり、いじったりして間違った優越感を持っている生徒がいること。②犯罪を犯さないことや犯罪に巻き込まれないこと。特に携帯電話等でLINEやツイッター等を活用して、個人情報公表しないことや悪口や噂話を書かないこと。③交通事故に注意すること。特に自転車事故で加害者にならないことです。

このうち、注意することの②に関して、ある研修会で学んだ事例を紹介したいと思います。

子どもたちの間ではLINEが絡む問題が多発しています。ある小学校ではスマホの所持率は3割にもかかわらず、LINEをしている割合は全体の8割にも達しています。実は「iPodタッチ」などの携帯音楽プレーヤーや親のスマホ、勉強用のタブレット（多機能携帯端末）などを使ってやっているのです。

実際にあった事案を紹介します。ある中学校の3年生のクラスで、ある晩、LINEでコメントをやりとりしていくうちにメンバーみんなで映画館に行こうという話になりました。話がまとまった1時間後、コメントのやりとりに参加していなかったA君がLINEに参加。映画に行くということを知り「僕も行く」とコメントしました。もちろんメンバーはみんな大歓迎です。どういう交通手段で来るかをA君に聞こうとB君が「何で来るの？」とコメントを打ち込みました。すると、なぜかA君の態度は一変。「やっぱり行くのやめる」と書き込みました。なぜでしょうか。

実はB君の「何で来るの？」の質問をA君は、「なぜ来るの？」、つまり「お前は来るなよ」と否定的な意味で受けとってしまったのです。こうなると関係修復が大変です。

ネットの危険性を子どもたちにどう教えればいいのでしょうか。近年、若者がアルバイト先の飲食店の冷蔵庫に入るなど、悪ふざけした画像が相次ぎネット上を駆け巡った事件では、若者側に対し損害賠償が請求されています。こうした事件については子どもたちも知っているのですが、「損害賠償」の意味はわかっていません。「画像をネットに載せた人は休業補償として3000万～5000万円も払う必要があるが、未成年の君たちに代わってお父さんやお母さんが払わなくてはいけないんだ」と教えることが大切です。単に「危険だからやめなさい」と言っても伝わりません。「名前も写真もネット上にずっと残って、結婚や就職にも影響している事例」を紹介しながら説明しなくてはなりません。

生徒たちは「自分は大丈夫だ」と本当に安易に考えています。悪ふざけ画像も多くの場合、最初はLINEのメンバーしか見られない状態です。でも、けんかや仲間割れしたとき、メンバーの誰かが仕返ししてやろうと、悪ふざけしたときの写真をばらまくケースが多いのです。ネット上に公開された情報は一生残ってしまいます。

PTA 家庭教育講座開催のお知らせ

12月4日付で案内をしたところですが、明日9日（土）10時～11時30分の時間帯に、本校図書室において、家庭教育講座を開催します。お誘いあわせの上一人でも多くの保護者の方の参加をお待ちしています。株式会社CTYの「渋谷文昭」様を招聘して、演題「インターネットの安心安全な使い方～子どもたちをネットの被害者にも加害者にもさせないために」の内容で講演会を行います。

なお、本校HP（12月25日と26日）で紹介しました、独立行政法人 情報処理推進機構の「**2015年度情報セキュリティに対する意識調査**」の結果（<https://www.ipa.go.jp/files/000050001.pdf>）及び三重県健康福祉部子ども・家庭局少子化対策課の「**18歳未満の子どもの携帯電話利用に関する調査**」の結果（<http://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/201512021220.pdf>）も一読いただくと幸いです。